

## コロナ下でも高まる日印関係強化への期待

2020年7月28日

講師：在インド日本国大使館 安藤 俊英 次席公使

経済広報センターは7月28日、在インド日本国大使館の安藤俊英次席公使を招き、「新型コロナ下のインド～日印関係緊密化への期待と課題」と題するオンライン会合を開催した。会員企業などから約30名が参加した。

安藤氏はまず、インドのコロナの状況について、強力なロックダウン措置をとったにもかかわらず、アメリカ、ブラジルに次ぐ感染者数を記録するなど感染拡大が続いており、引き続き注視が必要である旨を指摘した。日本企業関係者については、臨時便により約8割が退避したが、今後どのように帰任を進め操業を再開させていくかが課題であると述べた。

また、中印国境紛争等により、中国との関係が悪化していることに言及。「戦略的自立」を掲げるインドの外交姿勢の変化に注目しているとしつつ、自由で開かれたインド太平洋の実現に向け、日米豪印等の枠組みに加え、インドが2021年から国連安保理の非常任理事国となり、22年にはG20議長国になることも踏まえ、一層連携を進めたいと説明した。

インド経済については、足元は落ち込んでいるものの、IMFの予想でも来年度は持ち直すと言われており、引き続き有望な投資先であるとした。モディ政権は、対中依存脱却も念頭に置いて「自立したインド」を提唱し、日本の投資拡大に高い期待を寄せており、わが国政府としては、引き続きビジネス環境の改善を求め、日印経済協力関係強化につなげたいと述べた。

以上

---

一般財団法人

## 経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<http://www.kkc.or.jp/>

<http://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。